

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第1区分
 【発行日】平成18年6月8日(2006.6.8)

【公表番号】特表2005-526511(P2005-526511A)
 【公表日】平成17年9月8日(2005.9.8)
 【年通号数】公開・登録公報2005-035
 【出願番号】特願2004-506720(P2004-506720)
 【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)
A 6 1 K 39/00 (2006.01)
A 6 1 K 48/00 (2006.01)
A 6 1 P 35/00 (2006.01)
C 0 7 K 14/705 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A
 A 6 1 K 39/00 H
 A 6 1 K 48/00
 A 6 1 P 35/00
 C 0 7 K 14/705

【手続補正書】

【提出日】平成18年4月12日(2006.4.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

全ての完全反復配列を欠くMUC-1誘導体をコードする核酸分子。

【請求項2】

さらに不完全反復配列を欠く、請求項1に記載のMUC-1誘導体をコードする核酸分子。

【請求項3】

さらにシグナル配列を欠く、請求項1または2に記載の核酸分子。

【請求項4】

さらに機能性膜貫通ドメインおよび/または細胞質内ドメインを欠く、請求項1～3のいずれか1項に記載の核酸分子。

【請求項5】

FLSFHISNL ; NSSLEDPSTDYYQELQRDISE ; およびNLTISDVSVからなるグループから選択される1以上の配列をコードする、請求項1～4のいずれか1項に記載の核酸分子。

【請求項6】

さらにTヘルパーエピトープをコードする異種配列を含む、請求項1～4のいずれか1項に記載の核酸分子。

【請求項7】

DNA分子である、請求項1～6のいずれか1項に記載の核酸分子。

【請求項8】

請求項7のDNA分子を含むプラスミド。

【請求項9】

請求項1～8のいずれか1項に記載の核酸分子がコードするタンパク質。

【請求項 10】

請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項に記載の核酸または請求項 8 に記載のプラスミドまたは請求項 9 に記載のタンパク質ならびに製薬上許容される賦形剤、希釈剤または担体を含む医薬組成物。

【請求項 11】

担体が微粒子である、請求項 10 に記載の医薬組成物。

【請求項 12】

微粒子が金である、請求項 11 に記載の医薬組成物。

【請求項 13】

アジュバントを含む、請求項 10 ~ 12 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

【請求項 14】

医薬において使用する、請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項に記載の核酸、請求項 8 に記載のプラスミド、請求項 9 に記載のタンパク質または請求項 10 ~ 13 に記載の医薬組成物。

【請求項 15】

MUC-1を発現する腫瘍を治療または予防するための医薬の調製における、請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項に記載の核酸の使用。

【請求項 16】

MUC-1を発現する腫瘍を治療または予防するための医薬の製造における、請求項 8 に記載のタンパク質の使用。